

【問1】 小型家電として、区役所・支所等にある専用ボックスへ出せる最大のサイズはどれでしょう。
①10cm×15cm ②20cm×20cm ③30cm×15cm (答えは3ページ下)

「ごみを電気に 川崎産グリーン電力」のご紹介



PRポスター

市内のごみ焼却処理施設では、ごみの焼却に伴い発生する熱を利用した廃棄物発電を行っています。廃棄物発電は再生可能エネルギーに位置付けられている環境にやさしい電力です。

川崎市では、この電力を「川崎産 グリーン電力」として、川崎市が過半出資する地域新電力会社である「川崎未来エナジー株式会社」を通じて市立学校や区役所などの市公共施設等に供給し、廃棄物発電電力の市内での有効活用や地産地消の取組を実施しています。

■安定して廃棄物発電を行うためには、ごみの分別が重要です。引き続き、ごみの適正排出にご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ：環境局 脱炭素戦略推進室
TEL 200-1223 FAX 200-3921



川崎産グリーン電力



リチウムイオンバッテリーの出し方

リチウムイオンバッテリーは強い衝撃が加わると、発火や破裂を起こし重大な事故につながる恐れがあります。リチウムイオンバッテリーの処分はJBRC 回収協力店または地域を所管する生活環境事業所で回収しています。

また、メーカーがわからないものやリサイクルマークのついていないもの、破損・膨張しているものなど、回収先のないリチウムイオンバッテリー等の小型充電式電池は地域を所管する生活環境事業所の窓口で回収しています。



市ホームページ

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



＜ごみ収集車の火災＞



＜リチウムイオンバッテリーの燃え殻＞

2

【問2】の答え ②・・・2023年度の1人1日当たりのごみの排出量は730gとなっており、2005年度と比べると約380g減となっています。